

2013 年度 通常総会議案

特定非営利活動法人 日中児童の友好交流後援会

議 案 書 目 次

I. 報告事項

2012 年度一般報告事項

II. 決議事項

第1号議案 2012 年度事業報告および会計収支計算書承認の件

第2号議案 2013 年度事業計画案および会計収支予算書案承認の件

第3号議案 定款の一部改定案承認の件

第4号議案 役員人事案件承認の件

2013 年度通常総会次第

日 時:2013 年 5 月 18 日(土)午前11時 00 分より

会 場:株式会社ヴィレッジ・セラーズ銀座スペース内会議室

- (1) 開会のあいさつ
- (2) 理事長あいさつ
- (3) 議長選出
- (4) 議事録署名人の選任
- (5) 審 議
- (6) 閉会のあいさつ

I. 報告事項

2012年度一般報告事項

1. 会員の状況

2012年度末(2013年3月31日)における会員数および年度中の移動は次の通り。2012年度中の増減19名の内訳は、新規入会9名、退会28名(内訳:退会連絡13名、住所不明6名、5年以上会費未納として除名9名)。

区 分	会 員 数	2011年度末の 会員数	2012年度中の移動
			増減
正 会 員	167	186	-19

2. 理事会、総会、理事連絡会の開催状況

- (1) **理事会**:理事会を2012年5月15日(火)に開催、2012年度通常総会に付議すべき事項を議決した。
- (2) **総会**:2012年度通常総会を2012年6月9日(土)東京文化会館で開催し、一般報告事項の報告に次いで、下記3件の議案を審議し、原案通り承認可決された。
- ① 2011年度事業報告および収支決算報告
 - ② 2012年度事業計画案および収支予算案
 - ③ 役員人事案件
- (3) **理事連絡会**:全理事への随時メール連絡および理事連絡会の随時開催により、各種の連絡・検討・活動状況の報告を行った。
- ① 理事長からの連絡事項
 - ② 会員の異動、会費・寄付金の状況
 - ③ 九三小学訪日団の受入計画、諸手続、訪問校およびホームステイ受入の状況
 - ④ 文通活動の参加校・参加人数・手紙の受取・翻訳手配・発送などの状況、“フレンドニュース”の編集・制作状況
 - ⑤ 児童訪日団で訪日した者の同窓会である「朋友会」の状況
 - ⑥ 会員懇親交流活動の状況
 - ⑦ 広報活動としての会報「白玉」発行などの発行状況の報告および新たな事業「旅順むかしばなし」絵本シリーズの発行活動の経緯と経過
 - ⑧ 外務省主催日中国交正常化40周年記念事業への認定獲得および各種記念事業の実施についての検討および実施、結果報告
 - ⑨ 活動資金確保のための助成金の申請、経過、および結果報告
 - ⑩ 国際理解教育活動の状況
 - ⑪ 会計収支状況の報告

II. 決議事項

1. 第1号議案 2012年度事業報告および会計収支計算書承認の件

＜事業報告＞2012年度総会で承認された事業計画案に沿って実施した状況は次の通り。

(1) 訪日団支援および文通活動支援

2012年度は本後援会として記念すべき年であった。外務省主催である日中国交正常化40周年記念年事業委員会より、「2012年日中国民交流友好年認定事業」として認定を受けた本後援会の事業は、4月19日～22日「創立20周年記念友好交流大会」訪中団の派遣と、5月7日～12日「日中ペンフレンド小学生訪日事業」訪日団の受入の2事業であった。

そのうち、訪日団は、3年ぶりに受入実施となり、5月7日(月)より5泊6日の滞在日程で、旅順九三小学から劉淑萍氏が引率し6名の小学6年生が来日した。うち1泊2日は文通交流校である目黒区立鷹番小学校での学校体験とホームステイをすることができた。大変大きな成果のあった訪日団の受入であった。なかでも訪日団全員による自己紹介は、30分ほどかけたひとつのまとまった演劇のようなものだった。すべて日本語で行われ、楽器演奏やダンス披露、合唱などのパフォーマンスは、鷹番小の児童たちに大きな感動を与えた。ただ、給食時や清掃時等、訪日団メンバーの行動について違和感を覚えた児童や教員たちもあり、国際理解教育の生きた経験として、非常によい事例を残すことができた。

文通活動も2012年度は活発に行われ、述べ1,900通を超える手紙が年間2回の往復をし、無事終了することができた。日本側の参加小学校のうち、港区立東町小学校は自校の外国人児童受入新規事業開始による多忙の理由により、2012年度より不参加となった。また中国側からも日中関係の諸事情から水師營中心小学校が不参加となった。中学校の文通については、渋谷教育学園渋谷中学高等学校、および、啓明学園中学校高等学校の2校が、旅順口区第五十五中学と文通を開始し、順調に交流が進んでいる。

また、「フレンドニュース第32号」を2013年3月に発行した。2011年度より新たに各学校に自由参加を前提として1ページの紹介記事を書いてもらい、それを事務局で日本語と中国語の両言語併記形式で編集し、すべての文通活動参加者および関係者に配付した。2012年度のフレンドニュースはすべての文通交流校が参加し大変意義ある号となった。

(2) 同窓会「朋友会」活動

2012年は、本後援会創立20周年という記念すべき年であり、いろいろな記念事業を行った。「朋友会」メンバーの一人である于方元氏は京都の立命館大学の博士課程で論文を執筆中である。本後援会のNPO活動を研究対象のひとつとしていたこともあり、本後援会にインタビューのために来訪。11月の記念午餐会にも参加した。

(3) 会員懇親交流活動

創立20周年記念事業として、春に訪中団を派遣したが、秋には都内で駐日本国中国大使館の呂克儉公使・張曉燕夫妻と、著名な音楽家の盛中国・瀬田裕子夫妻を招待し、11月14日(水)に帝国ホテルで記念午餐会を開催した。

呂克儉公使は、本後援会が設立された1992年の創立記念パーティに駐日本国中国大使館中国大使代理として出席されたことが、2010年に発行された「日中児童友好交流20年のあゆみ」に記録されている。呂克儉公使は大連市金州のご出身であり、現在翻訳ボランティア活動をしている大連外国語大学が母校でもあることなど、本後援会とは深いご縁がある。なお、記念午餐会の様子は、スライドショーとして、特製 CD アルバムを制作し、関係各方面へ配布した。

(4) 広報活動

広報誌「白玉」は、2012年9月に第30号、2013年3月に第31号を発行した。2012年度も、編集デザインは新体制になって以来協力してくれている一流デザイナーによるもので、印刷は後援会事務局の手作業でコピー作成し、出版経費削減を図った。

また、以前本後援会副会長だった高野峰氏が会長をしていた旅順第一小学校同窓会「白玉会」の解散にともない、131,298 円の募金があった。多額であったこともあり、同窓会の名前も残せ、本後援会の趣旨にあう広報活動のひとつとして、旅順の昔話を探しだし、いくつかを日本語に翻訳し、子供向けの絵本として出版するのはどうか、という提案があった。会員に広く呼びかけたところ、さっそく追加寄付が寄せられた。本後援会では、2012年度に3冊の絵本を出版することになり準備が進められている。

(5) 外務省認定事業「2012年日中国民交流友好年認定事業」としての訪中団派遣と桜苗植樹

4月19日(木)～22日(日)の訪中団派遣は、本後援会の「創立20周年記念日中友好交流大会」として、江原規由理事長を団長とする訪中団を旅順に派遣した。板倉哲郎名誉理事長にも参加いただき20名の訪中団を派遣できたことは、大変記念すべき喜ばしいことであった。

旅順側も、本後援会訪中団を大歓迎してくれた。旅順口区政府の熊博力書記に対する表敬訪問の際には、本後援会から創立20周年記念として、九谷焼の壺やデジカメ等の記念品を贈呈した。また、かねてより会員からの募金により準備を進めていた羽田澄子氏の映画「遙かなるふるさと 旅順・大連」の中国語字幕付きバージョンが訪中直前に完成し、ブルーレイ形式とDVD形式の2種類を旅順口区人民政府に贈呈することができたことは誠に喜ばしいことであった。熊博力書記には、4月20日(金)に旅順の党学校内会議室にて、書記主催による本後援会創立20周年記念祝賀午餐会を盛大に開催していただいた。

桜花園への桜の苗木贈呈についても、旅順口区政府の協力のもと、二〇三高地の麓にある桜花園にて、大きく育った立派な苗木を植樹することができた。また、かねてより、故川畑文

憲氏が会長時代に建立された古い石碑を、本後援会が旅順口区政府に再建を依頼していたが、みごとに再建され、再除幕式も同時に開催した。

(6) 国際理解教育に関する協力

5月の旅順九三小学訪日団受入の際、2012年は目黒区立鷹番小学校にとって開校80周年記念年であり、中国との記念事業がなにかできないか、との相談が村尾校長から寄せられた。同小学校卒業生で、中国の著名なヴァイオリニスト盛中国氏の夫人である瀬田裕子氏に、開校80周年記念コンサートの開催協力を要請したところ、ご厚意により11月14日(水)に実現することができた。

記念コンサートは、小学校体育館にて全校児童を対象に実施されたが、早朝にもかかわらず目黒区長青木英二氏も駆けつけ、中国大使館公使呂克儉・張曉燕夫妻や元駐中国日本国大使である谷野作太郎氏も参加されるなど盛大に開催された。コンサートは、盛中国氏のヴァイオリンと瀬田裕子氏のピアノ演奏を中心に10曲が披露された。最後は、お二人の伴奏とともに全校児童による校歌の大合唱となった。

当日の様子は、盛・瀬田夫妻のコンサートを長年録画・報道している(有)インターテイク社をはじめ、NHK 国際放送局や日中友好協会、人民日報社等の熱心な取材があり、国際放送や新聞記事として報道され、日本国内のみならず、中国本土へも中国語での情報発信ができたことなど、本記念事業は多方面に対する国際理解の促進に大きく貢献できた。

(7) 財団法人からの助成

2012年度も財団法人平和中島財団の助成を得て、文通活動と訪日団の受入を無事終了することができた。平和中島財団からは、日中の交流団体は多数あるが、小学生を対象とした、手作りの活動をしている団体はほとんどなく、20年もの間、発展しながら継続実施している本後援会の活動に高い評価をいただいた。今年度も最高額で助成が決定したのは、20年前に本後援会を設立し、かくも長きにわたり継続して日中の子どもたちの交流支援を続けてこられた会員の皆様1人1人の心意気と、絶え間ないご協力のおかげである。

本後援会の財政事情から鑑みても、こうした活動は平和中島財団からの助成金によるところ大であり、一円たりとも無駄にすることなく期待に応えられるよう、大事に使わせていただいている。

2012 年度会計収決算書(2012 年 4 月 1 日～2013 年 3 月 31 日)

項 目	2012 年度予算	2012 年度実績	備 考
収入の部			
1. 会費・寄付金収入	1,000,000	1,376,171	
年会費(正会員)		243,000	
正会員寄付		1,133,171	
会員外寄付	500,000	500,000	(財) 平和中島財団
桜花園寄付		255,588	2011 度からの繰越分
2. 雑収入(広告収入等)		196	利子
収入の合計	1,500,000	2,131,951	
支出の部			
1. 事業費			
小学生訪日団への支援	250,000	272,442	
文通活動支援	600,000	644,926	
同窓会活動支援	100,000	63,410	
活動関係者の懇親交流	100,000	443,141	*記念事業の追加を含む
広報活動	600,000	652,742	会報白玉等 *字幕製作費を含む
訪中活動	150,000	166,122	2012 年度訪中団関係
桜花園整備	27,187	27,187	石碑修理
事業費合計	1,827,187	2,269,970	
2. 管理費			
事務所経費	264,000	286,000	事務所借料(前年度 4 月分清算含む)
会合費(総会等)	50,000	44,667	
通信(郵送)費	100,000	56,630	メール便等
電話料	120,000	168,349	インターネット・FAX
事務用品費	30,000	67,450	
旅費(国内)交通費	50,000	69,410	
送金手数料	20,000	16,290	郵便振替手数料等
雑費	50,000	38,785	
管理費合計	684,000	747,581	
支出の合計	2,511,187	3,273,139	
収支差額	-1,011,187	-1,141,184	
前年度からの繰越金	2,224,381	2,224,381	桜花園分を含む
桜花園専用口座(りそな銀行)	255,588	255,588	
来期への繰越金	1,213,194	827,609	

りそな銀行(2013.3.31)	183,819
ゆうちょ銀行	171,696
振替口座	471,294
現金	800
合計	827,609
次年度への繰越金	827,609

上記のとおりご報告申し上げます。

2013 年 4 月 10 日

特定非営利活動法人日中児童の友好交流後援会
理事長 江原規由 ㊞

審査の結果、収支は適正に処理されており、上記に相違ありません。

2013 年 4 月 12 日

監事 森豊吉 ㊞

2. 第2号議案 2013年度事業計画案および会計収支予算書案承認の件

<事業計画案>

(1) 第18次児童訪日団の受入

今年度は、旅順九三小学校校長張青先生と、日本語教員で現在は英語教員の張月霞先生の2名が引率し、小学6年生10名の来日が決定している。訪日経費については、昨年度より、引率教員の航空運賃の双方半額負担、および、来日児童は全額自己負担となっている。滞在費については、宿泊費全額と、後援会主催事業参加への交通費および滞在中の保険については、全額後援会負担。その他、食費や個人行動に関わる費用(ディズニーランド入場料も含む)については、全額自己負担となっている。受入日程は、5月7日から12日(5泊6日)まで。受入校は目黒区立鷹番小学校で、5月8日と9日の2日間、体験学習とホームステイをする。今年度は、10日午前中に港区立御田小学校へのスクールビジットも予定されている。

(2) 文通活動の支援

小学生の文通活動については、原則的にはいままでと同様の方法で行う。2011年度から再開した中学生の文通交流活動も、生徒たちの評判がよく、今年度も継続して実施する。フレンドニュースは、中国語と日本語の両国語で年度末に年間を振り返る内容で年1回発行する。また、文通活動が開始されたのが1994年からなので、2014年に20周年を迎える。これまでの関係者等に相談しながら、記念のための広報資料作成等の検討をしていきたい。

(3) 同窓会「朋友会」活動支援

昨年度に引き続き、名簿の整理を行う。朋友会のサイト運営については、ブログやFacebook等の開設等、検討事項とする。

(4) 活動関係者の懇親交流

収支状況をみながら、時宜に応じて検討していく。

(5) 広報活動

例年通り「会報白玉」を年間2回発行し、文通交流活動の広報誌である「フレンドニュース」を、日中両言語で年度末に1回発行する。また、旅順、大連への理解を促進するための資料として、旅順に伝わる伝説を、「旅順むかしばなし」シリーズとして自費出版し、文通交流校を中心に配布していく。

(6) 国際理解教育に関する支援・協力

文通交流校から要望のある各行事へのプログラム支援・協力をする

3. 第3号議案 定款の一部改訂案承認の件

当後援会の事務所を東京都世田谷区奥沢に移したことに伴い、定款の第2条を下記の通り改訂する。

第2条(事務所)

この法人は、事務所を東京都世田谷区奥沢3丁目16の8に置く。

以上

4. 第4号議案 役員人事案承認の件について

下記のとおり、新規役員に選任することを提案する。任期は定款の規定どおり2年とする。

記

役職名	氏名	備考
理事	中村芳子	新任

＊ 中村芳子氏は(株)ヴィレッジ・セラーズ専務取締役。

以上

2013年度会計収支予算書(2013年4月1日～2014年3月31日) 案

項 目	2013 年度予算	備 考
収入の部		
1. 会費・寄付金収入	1,000,000	
年会費(正会員)		
正会員寄付		
会員外寄付	500,000	(財) 平和中島財団
2. 雑収入(広告収入等)		銀行利子
収入の合計	1,500,000	
支出の部		
1. 事業費		
小学生訪日団への支援	500,000	
文通活動支援	600,000	絵本作成も含む
同窓会活動支援	50,000	
活動関係者の懇親交流	100,000	
広報活動	200,000	会報白玉等
訪中活動	50,000	
事業費合計	1,500,000	
2. 管理費		
事務所経費	44,000	事務所借料
会合費(総会等)	50,000	
通信(郵送)費	100,000	
電話料	120,000	インターネット・FAX
事務用品費	30,000	封筒印刷ほか
旅費(国内)交通費	200,000	
送金手数料	20,000	郵便振替口座ほか
雑費	50,000	
管理費合計	614,000	
支出の合計	2,114,000	
収支差額	-614,000	
前年度からの繰越金	827,609	
来期への繰越金	213,609	